

# 1973 年 春休み九州旅行②～南北九州及び北九州（その 2）の旅

1973 年 3 月 16 日(金)~20(火)

## 【1973 年 3 月 16 日(金)】

### （1）鹿児島本線(熊本～西鹿児島)、指宿枕崎線(西鹿児島～山川)

前日の夕方に熊本に到着し、深夜 1 時 28 分発の夜行列車に乗ったのですが、それまで何をしていたのか曖昧な記憶しか残っていません。当時は深夜営業の居酒屋チェーンも無く、4 人で駅前の雀荘で麻雀をしていたように思います。

西鹿児島行きの（急行）かいもん 3 号は混んでおり、それぞれが空席を見つけて西鹿児島までウトウトして夜を明かしました。早朝 5 時 50 分に西鹿児島に着き、駅で顔を洗って歯磨きをし、どこかで朝食を食べたのでしょう。当時は夜行列車で到着した人が駅で歯みがきをしている姿を見かけましたが、最近はそんな光景を見なくなりました。

<1973 年 3 月 16 日>

○熊本  
 | 1:28 発  
 | 鹿児島本線  
 | (急行)かいもん 3 号[西鹿児島行]4 時間 22 分  
 | 5:50 着  
 ○西鹿児島  
 | 8:38 発  
 | 指宿枕崎線(普通)[山川行]1 時間 22 分  
 | 10:00 着  
 ○山川  
 | 国鉄バス 山川～長崎鼻峠  
 | 国鉄バス 長崎鼻～山川  
 ○山川  
 | 14:57 発  
 | 指宿枕崎線(普通)[西鹿児島行]1 時間 27 分  
 | 16:27 着  
 ○西鹿児島

鹿児島本線ダイヤ (急行)かいもん 3 号		
熊 本	1:28	
川 尻	↓	
宇 土	↓	
松 橋	↓	
小 川	↓	
有 佐	↓	
千 丁	↓	
八 代	2:10	
肥 後 高 田	2:25	
日 奈 久	↓	
肥 後 二 見	↓	
上 田 浦	↓	
肥 後 田 浦	↓	
海 浦	↓	
佐 敷	↓	
湯 浦	↓	
津 奈 木	↓	
水 俣	3:16	
袋	↓	
米 ノ 津	↓	
出 水	3:41	
西 出 水	↓	
高 尾 野	↓	
野 田 郷	↓	
折 口	↓	
阿 久 根	4:04	
牛 ノ 浜	↓	
薩 摩 大 川	↓	
西 方	↓	
薩 摩 高 城	↓	
草 道	↓	
上 川 内	↓	
川 内	4:45	
隈 之 城	↓	
木 場 茶 屋	↓	
串 木 野	5:03	
市 来	↓	
湯 之 元	↓	
東 市 来	↓	
伊 集 院	5:29	
薩 摩 松 元	↓	
上 伊 集 院	↓	
西 鹿 児 島	5:50	

西鹿児島を 8 時 38 分発の指宿枕崎線に乗り、山川に 10 時ちょうどに着きました。当時は山川から国鉄バスがあり、国鉄バスは周遊券で乗車することができたので、山川から長崎鼻フラワーパーク行きの国鉄バスに乗りました。おそらく、観光ガイドで見つけた公園だったと思いますが、菜の花などの春の花が咲き、間近に開聞岳が見える綺麗な公園でした。

指宿枕崎線の山川から終点の枕崎までのことは第 2 部で書いていますが、この時に指宿枕崎線は西鹿児島から山川まで乗車しました。フラワーパークから山川に戻り、駅のベンチで列車待ちをしている時、夜行列車で寝不足だったのでウトウト眠っている姿を一緒に行った友人のカメラで撮られたことを覚えています。

帰りは山川を 14 時 57 分の列車に乗り、西鹿児島に 16 時 27 分に到着しました。この日は桜島にある桜島ユースホステルに宿泊しました。その場所を確認するため、インターネットで調べてみると 2020 年 3 月 31 日に閉館されたようですが、つい最近まで営業していたことに驚きました。おそらく、この日は鹿児島市内からフェリーに乗って桜島に渡り、フェリー乗り場のすぐ近くにあったユースホステルに宿泊したのでしょう。



指宿枕崎線ダイヤ

	731D
西 鹿 児 島	8:38
南 鹿 児 島	8:43
谷 山	8:49
坂 之 上	8:54
五 位 野	8:59
平 川	9:05
瀬 々 串	9:10
中 名	9:15
喜 入	9:19
前 之 浜	9:29
生 見	9:35
薩摩今和泉	9:40
宮 ケ 浜	9:45
二 月 田	9:50
指 宿	9:54
山 川	10:00

【1973 年 3 月 17 日(土)】

(2) 日豊本線(国分～霧島神宮)

朝、ユースホステルを出発して桜島港から国鉄バスに乗り、大隅半島側の桜島口まで行き、そこから日豊本線の国分方面へ行く国鉄バスに乗り換えて国分まで行きました。そして国分を 9 時 57 分発の都城行の普通列車に乗り、隣の霧島神宮まで 24 分もかかって 10 時 21 分に到着しました。随分時間がかかっているのを調べてみると、両駅間は 12.7 km もあり 2013 年 12 月 1 日現在で JR 九州管内の在来線で最も駅間距離の

<1973 年 3 月 17 日>

- 桜島港
  - | 国鉄バス 桜島港～桜島口
  - | 国鉄バス 桜島口～国分
- 国分
  - | 9:57 発
  - | 日豊本線(普通)[都城行] 24 分
  - | 10:21 着
- 霧島神宮
  - | 路線バス 霧島神宮駅～霧島神宮前
  - | 路線バス 霧島神宮前～えびの高原
  - | 路線バス えびの高原～小林駅
  - | 路線バス 小林駅～宮崎
- 宮崎



長い区間でした。さらに、両駅間に信号所があるため、そこで下りの列車待ちがあったのかもしれません。

霧島神宮で列車を降り、霧島神宮に参拝して、えびの高原、小林を経由して宮崎までバスで移動しています。この時、周遊券を利用して列車で移動しなかった理由は覚えていませんが、バスの便が良かったからなのかもしれません。また、霧島神宮へ行ったことも不思議な気もしますが、おそらく私の中学校の修学旅行のコースに入っていたので、それをベースに観光コースを提案したのではないかと思います。

この日、バスで宮崎に到着した時間の記録は無かったのですが、夜は宮崎駅の近くの小さな旅館に泊まった覚えがあります。おそらく、これも宮崎の観光案内所で紹介してもらったところだったと思いますが、少し薄暗い陰気な宿だったような記憶があります。夕食は旅館では食わず、近くのおでん屋さんのような所で食べたような気がします。その時、翌日の旅行計画を相談し、当時は4人のうち2人が運転免許を持っていたことから、レンタカーを借りて日南海岸方面にドライブしようということになりました。日南海岸方面は、国鉄の日南線を利用しても有名な観光地へのアクセスにはバスを利用するしかなかったのでレンタカーということになったのだと思います。



【1973年3月19日(月)】

(3) 吉都線、肥薩線(吉松~隼人)、日豊本線(西鹿児島~宮崎)

前日は、レンタカーで日南海岸の観光地を回ったため列車には乗りませんでした。そして、同じ旅館にもう一泊し、この日は吉都線、肥薩線に乗り最後に西鹿児島から日豊線の夜行列車に乗りました。このルートは、肥薩線のループとスイッチバックに乗ってみたいという4人の中の1人の鉄道ファンが考えたプランだったと思います。その当時、他の3人はループやスイッチバックについての知識は無く、そんな路線もあるんだなと思った程度だったと思います。

吉都線は、鹿児島県始良郡湧水町の吉松と宮崎県都城市の都城を結ぶ 61.6 km の路線で現在は 17 駅あります。名前は両端の駅名から 1 文字ずつ取っていますが、乗車した列車は宮崎始発のため、宮崎から都城までは日豊本線を走行しました。

日豊本線には一昨日も一部区間を乗車しましたが、今夜の西鹿児島からの乗車を日豊本線の乗車記録として整理しました。



宮崎を 8 時 33 分に出  
発した博多行きの(急行)  
えびの 1 号は、都城を経  
由して吉松に 10 時 32 分  
に到着しました。この列  
車がそのまま吉松で肥薩  
線に入り、肥薩線のルー  
プやスイッチバックを走  
行します。

それらの鉄道用語につ  
いて知識の無かった他の  
3 人は、鉄道ファンの彼の  
話を聞くだけでしたが、  
大きくカーブしながら走  
っている列車の線路が大  
きな円形のループとなっていることは、あま  
り感じられませんでした。また、この路線の  
沿線の車窓風景が日本 3 大車窓風景の 1 つと  
言われていますが、この列車に乗車した時  
には 3 大車窓風景についても知りませんでした。  
残りの長野県の篠ノ井線の姨捨と北海道  
の狩勝峠については第 2 部で触れているとお  
りです。

宮崎からの(急行)えびの 1 号は、この先も  
鹿児島本線の八代まで肥薩線を走行しま  
すが、今回は人吉で降りて下りの(急行)え  
びの 2 号に乗り換え、肥薩線を折返して吉  
松を経由して隼人に戻りました。

# 吉都線のダイヤ

(急行)えびの 1 号		
都 城	9:24	
日 向 庄 内	↓	
谷 頭	↓	
万 ケ 塚	↓	
東 高 崎	↓	
高 崎 新 田	↓	
日 向 前 田	↓	
高 原	↓	
広 原	↓	
小 林	10:00	
西 小 林	↓	
飯 野	10:15	
上 江	↓	
加 久 藤	↓	
京 町 温 泉	10:26	
鶴 丸	↓	
吉 松	10:32	

<1973 年 3 月 19 日>

- 宮崎
  - | 8:33 発
  - | 日豊本線
  - | (急行)えびの 1 号[博多行] 50 分
  - | 9:23 着
- 都城
  - | 9:24 発
  - | 吉都線
  - | (急行)えびの 1 号[博多行] 1 時間 8 分
  - | 10:32 着
- 吉松
  - | 10:36 発
  - | 肥薩線
  - | (急行)えびの 1 号[博多行] 56 分
  - | 11:32 着
- 人吉
  - | 11:38 発
  - | 肥薩線
  - | (急行)えびの 2 号[西鹿児島行] 59 分
  - | 12:37 着
- 吉松
  - | 12:39 発
  - | 肥薩線
  - | (急行)えびの 2 号[[西鹿児島行] 42 分
  - | 13:21 着
- 隼人
  - | 13:21 発
  - | 日豊本線
  - | (急行)えびの 2 号[[西鹿児島行] 29 分
  - | 13:50 着
- 鹿児島
- 西鹿児島
  - | 19:19 発
  - | 日豊本線 (普通)[宮崎行]3 時間 22 分
  - | 22:41 着
- 宮崎
  - | 23:00 発
  - | 日豊本線 (急行) みやざき[門司港行]



吉松



小林





肥薩線のダイヤ

(急行)えびの2号		
人	吉	11:38
大	畑	11:54
矢	岳	12:16
真	幸	12:27
吉	松	12:39
栗	野	12:48
大隅	横川	↓
植	村	↓
霧島	西口	13:02
嘉例	川	↓
中福	良	↓
表木	山	↓
日当	山	↓
隼	人	13:21

日豊本線ダイヤ①

	1522
西鹿児島	19:19
鹿児島	19:30
竜ヶ水	19:39
重富	19:48
帖佐	19:54
加治木	20:06
隼人	20:17
国分	20:22
霧島神宮	20:43
北永野田	20:53
大隅大川原	21:01
北俣	21:08
財部	21:13
五十市	21:20
西都城	21:24
都城	21:34
東都城	21:41
餅原	21:45
山之口	21:51
青井岳	22:05
田野	22:17
日向杵掛	22:24
清武	22:31
南宮崎	22:37
宮崎	22:41

人吉を 11 時 38 分発の肥薩線の下り（急行）えびの 2 号に乗り換え、吉松には 12 時 37 分に到着しました。2 分の停車で 12 時 39 分に吉松を出発し、日豊本線の隼人には 13 時 21 分に到着しました。この列車は西鹿児島行のため、そのまま乗車して鹿児島に 13 時 50 分に到着しました。

再び鹿児島市内に戻ってきましたが、今回は西鹿児島ではなく鹿児島に降りました。しかし、今夜乗る 19 時 19 分発の列車は西鹿児島が発です。それまでの間、鹿児島市内観光をしたのだと思いますが、その時の写真が見つからず、どこへ行ったのかを覚えていません。定番の観光地である城山とか磯庭園に行ったような気もしますが、一緒に行った人の記憶では鉄道ファンは SL 撮影に、他の人は知り合いの住んでいた町の駅まで行ったという話もあり、真相は不明です。

いずれにせよ列車の出発まで鹿児島で過ごし、西鹿児島を 19 時 19 分発の日豊本線の普通列車に乗り、宮崎に 22 時 41 分に到着しました。その列車が宮崎から 23 時 00 分発の門司港行きの急行「みやざき」となりました。これから、夜行列車の長い旅が始まります。



【1973 年 3 月 20 日(火)】

(4) 日豊本線(宮崎～小倉)、鹿児島本線(門司～二日市)、山陽本線(門司～柳井)

前日 23 時宮崎発の門司港行き日豊本線急行「みやざき」に 6 時間 59 分乗り続け、小倉に早朝 5 時 59 分に到着しました。今回の旅で 2 度目の夜行列車でした。おそらく小倉で

日豊本線ダイヤ②

(急行)みやざき		
宮崎	23:00	
宮崎神宮	↓	
日向住吉	↓	
佐土原	23:15	
日向新富	↓	
高鍋	23:30	
川南	↓	
都農	↓	
東都農	↓	
美々津	↓	
南日向	↓	
日向市	0:10	
門川	↓	
土々呂	↓	
南延岡	0:34	
延岡	0:42	
北延岡	↓	
日向長井	↓	
北川	↓	
市棚	↓	
宗太郎	↓	
重岡	↓	
直川	↓	
直見	↓	
上岡	↓	
佐伯	1:56	
海崎	↓	
狩生	↓	
浅海井	↓	
日代	↓	
津久見	2:10	
白杵	2:37	
上白杵	↓	
熊崎	↓	
下ノ江	↓	
佐志生	↓	
幸崎	↓	
坂ノ市	↓	
大在	↓	
鶴崎	↓	
高城	↓	
大分	3:30	
西大分		
東別府		
別府	3:41	

日豊本線ダイヤ③

(急行)みやざき		
別府	3:44	
亀川	↓	
豊後豊岡	↓	
日出	↓	
大神	↓	
杵築	↓	
中山香	↓	
立石	↓	
西屋敷	↓	
宇佐	4:31	
豊前長洲	↓	
柳ヶ浦	4:42	
豊前善光寺	↓	
天津	↓	
今津	↓	
東中津	↓	
中津	5:04	
三毛門	↓	
宇島	5:14	
豊前松江	↓	
椎田	↓	
築城	↓	
新田原	↓	
行橋	5:34	
小波瀬	↓	
荻田	↓	
朽網	↓	
下曽根	↓	
城野	↓	
南小倉	↓	
小倉	5:59	

&lt;1973 年 3 月 20 日&gt;

- 宮崎  
 | 23:00 発  
 | 日豊本線  
 | (急行)みやざき[門司港行] 6 時間 59 分  
 | 5:59 着
- 小倉  
 | 7:55 発  
 | 鹿児島(普通)[荒尾行] 1 時間 25 分  
 | 9:20 着
- 博多  
 | 10:05 発  
 | 鹿児島(普通)[久留米行] 26 分  
 | 10:31 着
- 二日市  
 | 12:03 発  
 | 鹿児島(普通)[博多行] 19 分  
 | 12:22 着
- 博多  
 | 13:51 発  
 | 鹿児島本線・山陽本線(急行)  
 | 玄海 3 号[岡山行] 3 時間 15 分  
 | 17:06 着
- 柳井  
 | 17:24 発  
 | 山陽本線(普通)[岡山行] 4 分  
 | 17:28 着
- 柳井港  
 □柳井港  
 | 17:30 発  
 | 防予フェリー 1 時間 55 分  
 | 19:25 着  
 □三津浜港

朝食を食べたのでしょう、小倉を 7 時 55 分発の荒尾行き電車に乗り換え、博多には 9 時 20 分に到着しました。東京方面へ戻る人は博多で帰りの切符の購入などを済ませた後、皆で大宰府天満宮に行くために博多 10 時 05 分発の久留米行に乗り、二日市には 10 時 31 分に到着しました。

二日市から少し歩いて大宰府天満宮に参拝し、参道のお店で名物の梅ヶ枝餅を食べた覚えがあります。大学生だったので合格祈願はしなかったように思いますが、単位を落として留年しないようお願いしたかもしれません。

大宰府天満宮に参拝した後、二日市を 12 時 03 分発の電車に乗り、12 時 22 分に博多に戻りました。私はここから松山に、他の 3 人は東京方面に戻るになるので博多で解散す

鹿児島本線ダイヤ①

	1130M
二日市	12:03
水城	12:07
白木原	12:09
南福岡	12:14
竹下	12:18
博多	12:22

ることになりました。東京組が博多から、どのようにして東京方面に戻ったのか覚えていませんが、東京から東北方面まで帰ることを考えると快適な寝台列車に乗って帰ったのかもしれない。

私は博多から 13 時 51 分発の岡山行き(急行)玄海 3 号に乗り、鹿児島本線と山陽本線を経由して柳井まで行き、フェリーに乗るために柳井で普通に乗り換えて柳井港には 17 時 28 分に到着しました。柳井港からは 17 時 30 分発の防予フェリーに 1 時間 55 分乗り、松山の三津浜港に 19 時 25 分に到着しました。そこから少し迷いながら伊予鉄道の三津浜まで歩き、郊外電車に乗って実家に戻りました。

鹿児島本線ダイヤ②

(急行)玄海 3 号		
博 多	13:51	
吉 塚	↓	
箱 崎	↓	
香 椎	↓	
筑 前 新 宮	↓	
古 賀	↓	
福 間	↓	
東 郷	↓	
赤 間	↓	
海 老 津	↓	
遠 賀 川	↓	
水 巻	↓	
折 尾	14:25	
黒 崎	14:31	
八 幡	↓	
枝 光	↓	
戸 畑	14:38	
新 中 原	↓	
小 倉	14:46	
門 司	14:53	

山陽本線のダイヤ

(急行)玄海 3 号	346M	
門 司	14:54	
下 関	15:02	
幡 生	↓	
長 門 一 宮	↓	
長 府	↓	
小 月	↓	
埴 生	↓	
厚 狭	15:29	
小 野 田	15:35	
宇 部	15:39	
厚 東	↓	
本 由 良	↓	
嘉 川	↓	
小 郡	16:01	15:30
四 辻	↓	15:35
大 道	↓	15:40
防 府	16:14	15:48
富 海	↓	15:55
戸 田	↓	16:03
福 川	↓	16:08
周 防 富 田	↓	16:11
徳 山	16:37	16:28
櫛 ヶ 浜	↓	16:32
下 松	16:44	16:37
光	16:49	16:43
島 田	↓	16:48
岩 田	↓	17:00
田 布 施	17:01	17:06
柳 井	17:06	17:24
柳 井 港		17:28



小倉



博多



柳井



二日市